

第1回課題検討会における重点課題に対する主な意見等

令和2年9月24日

秋田県商工会連合会

1 持続的発展が可能な組織・運営検討会【令和2年8月4日(火)】

	重点課題	主な意見等
(1) 効果的な商工会組織機構のあり方	事業者に必要な質の高い支援を機動的・効果的に行うため、支所の役割や機能等について点検・検証し、統廃合を含めた支所のあり方を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の会員減少や財政難など、将来を見据えて具体的な検討を加速させる必要がある。 ・分散していた職員が集約され、以前より効率よく業務ができるようになった。
(2) 新たな商工会連携のあり方	事業者や商工会が新たな可能性を見出すため、これまでの事業連携に止まらない所管エリアを超えた業務や組織における具体的な連携方策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の広域配置を検討する必要がある。 ・連携することで効率よく質の高い事業を行うことができる。
(3) 期待される役員と役員会機能のあり方	急激に変化する社会情勢に対応し的確な商工会運営を行っていくため、重要な役割を担う役員と役員会の果たすべき機能・役割を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・役員への報酬や定年制の導入を検討してはどうか。 ・役員から意見を引き出す仕組みが必要である。

2 将来を見据えた戦略的な施策検討会【令和2年8月5日(水)】

	重点課題	主な意見等
(1) 10年先を見据えたこれからの商工会事業のあり方	個社支援を中心とした商工会事業に加え、商工会が主体となった事業や会員を巻き込んだ事業など、新たな事業展開に向けた今後の取組について検討	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間ネットワークを構築し、地域の総合企業となるような事業活動を検討すべきである。 ・観光を総合産業ととらえ、商工会も積極的に関与すべきである。
(2) 事業者間連携・事業者グループによる事業促進のあり方	複数の企業が連携することで成果を生み出す事業展開を促進するため、商工会として果たすべき役割と方策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会は事業者連携をコーディネートする役割を果たすべきである。 ・連携により利益を確保できる仕組み作りが必要である。

3 次代を担うプロ職員育成検討会【令和2年8月6日(木)】

	重点課題	主な意見等
(1) 現場で力を発揮できる職員育成のあり方	会員事業者から期待される商工会職員の能力とは何かを明らかにし、現場で通用する高い実践力を身につけるための具体的な方策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からのヒアリング力を上げる必要がある。 ・専門家と職員がチームを組んでコンサルティング的支援を行うコーディネート力の強化が必要である。
(2) 将来を担う人材育成のあり方	第1期プランの人材育成計画に基づく制度やこれまでの取組実績の課題をふまえてさらに実効性を高めるとともに、将来を担う人材育成策について検討	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々の意識を変えていく仕組みが必要である。 ・管理職向けの研修等も必要である。